

平成25年2月

関係各位

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
運営委員長 菊池 純一
受託者 三井住友信託銀行株式会社
リテール受託業務部長 木村 栄

第10回「研究助成金」並びに「マイクロソフト知的財産研究賞」公募のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当基金は平成16年6月に主務官庁である文部科学省より許可を受け、知的財産の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に携わっている研究者への助成事業を通じ、「知的財産立国」の実現に貢献することを目的に日本マイクロソフト株式会社により設定されました。

当基金の助成事業には、「研究助成金」と「マイクロソフト知的財産研究賞」の2種類があります。

「研究助成金」は、情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に携わっている研究者への助成金の給付事業です。

「マイクロソフト知的財産研究賞」は、情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に関し、優れた業績をあげられた研究者へ顕彰金を授与する事業です。

「研究助成金」は自薦方式、「マイクロソフト知的財産研究賞」は自薦と他薦の両方式により募集いたします。

当基金第10回の公募を別紙の通り行ないますので、関係書類を下記の通り同封致しました。本年度が最後の募集となりますので、貴機関の関係者の方々に広くご周知頂きますようお願い申し上げます。

なお、過年度申請した方で不採択となった方も再応募が可能です。また、「マイクロソフト知的財産研究賞」は平成24年度より過去「研究助成金」を受給された方も応募が可能ですので宜しくお手配願います。

敬具

添付書類

1. 応募者宛て案内状
2. 平成25年度募集要領
 - (1) 「研究助成金」候補者募集要領
 - (2) 「マイクロソフト知的財産研究賞」受賞候補者募集要領
 - (3) 同上申請書用紙(A4判)
 - (4) 事業概念図
 - (5) 過年度受給者一覧表

*なお、上記添付書類2. は下記の当基金Web サイト (<http://www.mskoueki.info/>) にてダウンロード可能です。

*三井住友信託銀行の下記Web サイトからも当基金Web サイトへアクセスできます
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

平成25年2月

応募者各位

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

運営委員長 菊池 純一

受託者 三井住友信託銀行株式会社

リテール受託業務部長 木村 栄

第10回「研究助成金」並びに「マイクロソフト知的財産研究賞」公募のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当基金は平成16年6月に主務官庁である文部科学省より許可を受け、知的財産の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に携わっている研究者への助成事業を通じ、「知的財産立国」の実現に貢献することを目的に日本マイクロソフト株式会社により設定されました。

当基金の助成事業には、「研究助成金」と「マイクロソフト知的財産研究賞」の2種類があります。

「研究助成金」は、情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に携わっている研究者への助成金の給付事業です。

「マイクロソフト知的財産研究賞」は、情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に関し、優れた業績をあげられた研究者へ顕彰金を授与する事業です。

「研究助成金」は自薦方式、「マイクロソフト知的財産研究賞」は自薦と他薦の両方式により募集いたします。

当基金第10回の公募を別紙の通り行ないます。本年度で最後の募集となりますので、応募者は応募手続に従って期日までに応募書類を提出して下さい。なお、応募書類は返却致しません。

なお、過年度申請した方で不採択となった方も、再応募可能です。また、「マイクロソフト知的財産研究賞」は平成24年度より過去「研究助成金」を受給された方も応募が可能ですので奮ってご応募下さい。

敬具

添付書類

1. 平成25年度募集要領
 - (1) 「研究助成金」候補者募集要領
 - (2) 「マイクロソフト知的財産研究賞」受賞候補者募集要領
2. 同上申請書用紙(A4判)
3. 事業概念図
4. 過年度受給者一覧表

*なお、上記添付書類2. は下記の当基金Web サイト (<http://www.mskoueki.info/>) にてダウンロード可能です。

*三井住友信託銀行の下記Web サイトからも当基金Web サイトへアクセスできます
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
平成25年度「研究助成金」候補者募集要領

1. 趣旨

知的財産の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に携わっている研究者に対して、研究支援のために助成を行なう。

2. 助成対象研究分野

情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究…別添の概念図を参照のこと。（ソフトウェア・コンテンツ等知的財産そのものの開発・作成は助成対象研究ではありませんのでご注意ください。）

3. 助成対象者

- (1) 原則として国内の大学、その他各種研究機関・学会において前項に掲げた分野の研究に携わっている研究者・大学院生（個人）。
- (2) 国籍は問わないが日本語による助成対象研究報告書作成が条件。
- (3) 同一人による「マイクロソフト知的財産研究賞」との重複受給は他年度を含め認めない。
- (4) 他の助成金等との重複受給は妨げない。
- (5) 採択者は氏名、所属及び研究課題・助成対象研究報告書を小冊子・当基金HP等で開示することを了承するものとする。

4. 研究助成金額・件数

1件最高100万円・原則7件以内、「知的財産研究賞」と合わせ原則合計7件以内とする。

5. 応募方法

別添の申請書を受託者宛てに提出する。当基金Webサイト (<http://www.mskoueki.info/>)にてダウンロード可能。

*三井住友信託銀行の下記Webサイトからも当基金Webサイトへアクセスできます
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

尚、申請書は助成者の選考審査の為のみに使用し、選考後は申請者に返却しない。

6. 応募締切日

平成25年5月8日（水）（当日消印有効）

7. 選考方法及び選考結果の通知

当基金の運営委員会で選考する。平成25年7月前半に応募者に直接通知する。

8. 助成金の交付

平成25年7月後半以降に交付する。（東京にて贈呈式を予定している。）尚、所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用及び助成者の異動等による研究途中での助成金使用者の変更は認めない。また、委任経理の場合は交付が1ヶ月以上遅くなる場合がある。

9. 研究成果及び研究助成金使途の報告

平成26年9月迄に遅滞なく研究報告書を提出する。(なお研究開始は助成金交付後。)
収支決算書の提出を求めることがある。

なお、研究途中での「研究テーマ」及び「研究範囲」の変更は認められませんので、しっかりと見定めてご応募下さい。

10. 研究成果の公表方法

本研究の成果公表に際しては、公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金(英文名: Microsoft Public Trust for Intellectual Property Research Support Fund)の助成による旨を明記すると共に、刊行物に掲載された場合にはその別刷2部を受託者に提出する。

11. 応募書類提出先

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 担当: 大塚

TEL: 03-5232-8911 FAX: 03-5232-8919

E-mail: Ootsuka_Takayuki@smtb.jp

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
平成25年度「マイクロソフト知的財産研究賞」候補者募集要領

1. 趣旨

知的財産の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究に関し、優れた業績をあげた研究者に対し、顕彰金を授与してその業績を称える。

2. 助成対象研究分野

情報社会における知的財産（ソフトウェア、コンテンツ、ブランド等）の創造、保護及び活用に関する経済・社会システムの研究……別添の概念図を参照のこと（ソフトウェア・コンテンツ等知的財産そのものの開発・作成は助成対象研究ではありませんのでご注意ください。）

3. 助成対象者

- (1) 学歴、職歴、身分についての条件はない。
- (2) 国籍は問わないが日本語による業績対象成果物（※書籍）作成が条件。
- (3) 他の助成金等との重複受給は妨げない。
- (4) 採択者は氏名、所属及び研究テーマ・内容等を小冊子・当基金HP等で開示することを了承するものとする。

注：過去「研究助成金」を受給された方も応募が可能となりました

4. 顕彰金額・件数

自薦・他薦とも1件最高100万円・「研究助成金」と合せ原則合計7件以内とする。

5. 応募方法

別添の申請書（自薦と他薦を選択）及び業績対象成果物（※書籍）1点を受託者宛てに提出する。

他薦方式の推薦者の資格条件は特にない。当基金Webサイト (<http://www.mskoueki.info/>)にてダウンロード可能。

*三井住友信託銀行の下記Webサイトからも当基金Webサイトへアクセスできます
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

尚、申請書は助成者の選考審査の為のみに使用し、選考後は申請者に返却しない。

※市販されている、ブックコードのある書籍。共著ではなく単独著作が望ましい。

6. 応募締切日

平成25年5月8日（水）（当日消印有効）

7. 選考方法および選考結果の通知

当基金の運営委員会で選考する。平成25年7月前半に自薦方式は申込者、他薦方式は推薦者に直接通知する。なお、他薦方式で採択された場合は、被推薦人にも通知する。

8. 助成金の交付

平成25年7月後半以降に交付する。(東京にて贈呈式を予定している。)尚、所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用及び助成者の異動等による研究途中での助成金使用者の変更は認めない。また、委任経理の場合は交付が1ヶ月以上遅くなる場合がある。

9. 研究成果の公表方法

本研究の成果公表に際しては、公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金(英文名: Microsoft Public Trust for Intellectual Property Research Support Fund)の助成による旨を明記すると共に、刊行物に掲載された場合にはその別刷2部を受託者に提出する。

10. 応募書類提出先

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ
公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 担当: 大塚
TEL: 03-5232-8911 FAX: 03-5232-8919
E-mail: Ootsuka_Takayuki@smtb.jp

提出日 平成 年 月 日

東京都港区芝3丁目33番1号

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中

印

申込者氏名 _____

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金・研究助成申込書

下記の通り、貴公益信託の研究助成を受けたいので申請します。

★この申請書類に記載する事項は、助成金等の支給対象者の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲内で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が、主務官庁へ提供される他、助成対象研究報告書の内容が当基金ホームページ及び小冊子にそのまま掲載され一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

ふりがな 氏名 生年月日 昭和・平成 年 月 日 (歳) 現住所 〒 — 電話番号 ()	
在籍機関 (大学院・研究機関など) 名称 役職 所在地 〒 — 電話番号 () 主な所属学会	<ul style="list-style-type: none">・どちらかを○で囲んでください。 (大学院生の場合記入) 修士 (博士前期) 課程 博士 (後期) 課程・学部 (所属部署)・専攻学科・研究室・結果通知先を○で囲んでください。 自宅 所属先・連絡先メールアドレス

教育暦			(入学、卒業年次)		
(学校区分)	(学校名および所在地)	(専攻学科)	入 学	年	月
大 学			卒 業	年	月
			入 学	年	月
			卒 業	年	月
			入 学	年	月
			卒 業	年	月
職 歴			(勤務期間)		
(勤務先および所在地)	(職務内容・役職名)				
専門分野及びこれまでの研究の概要					

研究課題とその背景

研究課題

その背景

助成金申請期間の研究計画

「知的財産立国」の実現への貢献見通し

定期的収入の有無（○で囲んでください）

1. 奨学金 2. 給与・報酬 3. その他（アルバイトなど）

他機関から受けている又は受けることが決定している研究助成（職場で得る研究費を含む）

研究課題	助成金額 万円	助成機関	助成期間 年 月～ 年 月

提出日 平成 年 月 日

東京都港区芝3丁目33番1号

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中

印

申込者氏名 _____

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

「マイクロソフト知的財産研究賞」申込書（自薦用）

下記の通り、貴公益信託の受賞候補者として申請します。

★この申請書類に記載する事項は、助成金等の支給対象者の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲内で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が、主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

ふりがな 氏 名	
生年月日 昭和・平成 年 月 日 (歳)	
現住所 〒 —	
電話番号 ()	
在籍機関 (大学院・研究機関など)	所属部署
名称	・学部
役職	・専攻学科
所在地 〒 —	・研究室
電話番号 ()	・結果通知先を○で囲んでください。 自宅 所属先
主な所属学会	・連絡先メールアドレス

教育暦			
(学校区分)	(学校名および所在地)	(専攻学科)	(入学、卒業年次)
大 学			入 学 年 月 卒 業 年 月
			入 学 年 月 卒 業 年 月
			入 学 年 月 卒 業 年 月
			入 学 年 月 卒 業 年 月
職 歴			
(勤務先および所在地)	(職務内容・役職名)		(勤務期間)
主要論文リスト			

受賞対象となる研究テーマと具体的内容

研究テーマ _____

具体的内容

「知的財産立国」の実現への貢献見通し（申請理由）

他の受賞実績

提出日 平成 年 月 日

東京都港区芝3丁目33番1号

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中 (〒) (電話 - -)

住所 _____

推薦者

氏名 _____

印

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金

「マイクロソフト知的財産研究賞」推薦書（他薦用）

下記の方を、貴公益信託の受賞候補者として推薦します。

★この申請書類に記載する事項は、助成金等の支給対象者の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲内で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が、主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、受賞候補者は同意のうえ応募します。

ふりがな 氏名	
生年月日 昭和・平成 年 月 日 (歳)	
現住所 〒 —	
電話番号 ()	
在籍機関（大学院・研究機関など） 名称	所属部署
役職	・学部
所在地 〒 —	・専攻学科
	・研究室
電話番号 ()	・推薦者連絡先メールアドレス
主な所属学会	

教育暦

(学校区分)

(学校名および所在地)

(専攻学科)

(入学、卒業年次)

大学

入学 年 月
卒業 年 月

入学 年 月
卒業 年 月

入学 年 月
卒業 年 月

入学 年 月
卒業 年 月

職 歴

(勤務先および所在地)

(職務内容・役職名)

(勤務期間)

主要論文リスト

受賞対象となる研究テーマと具体的内容

研究テーマ _____

具体的内容

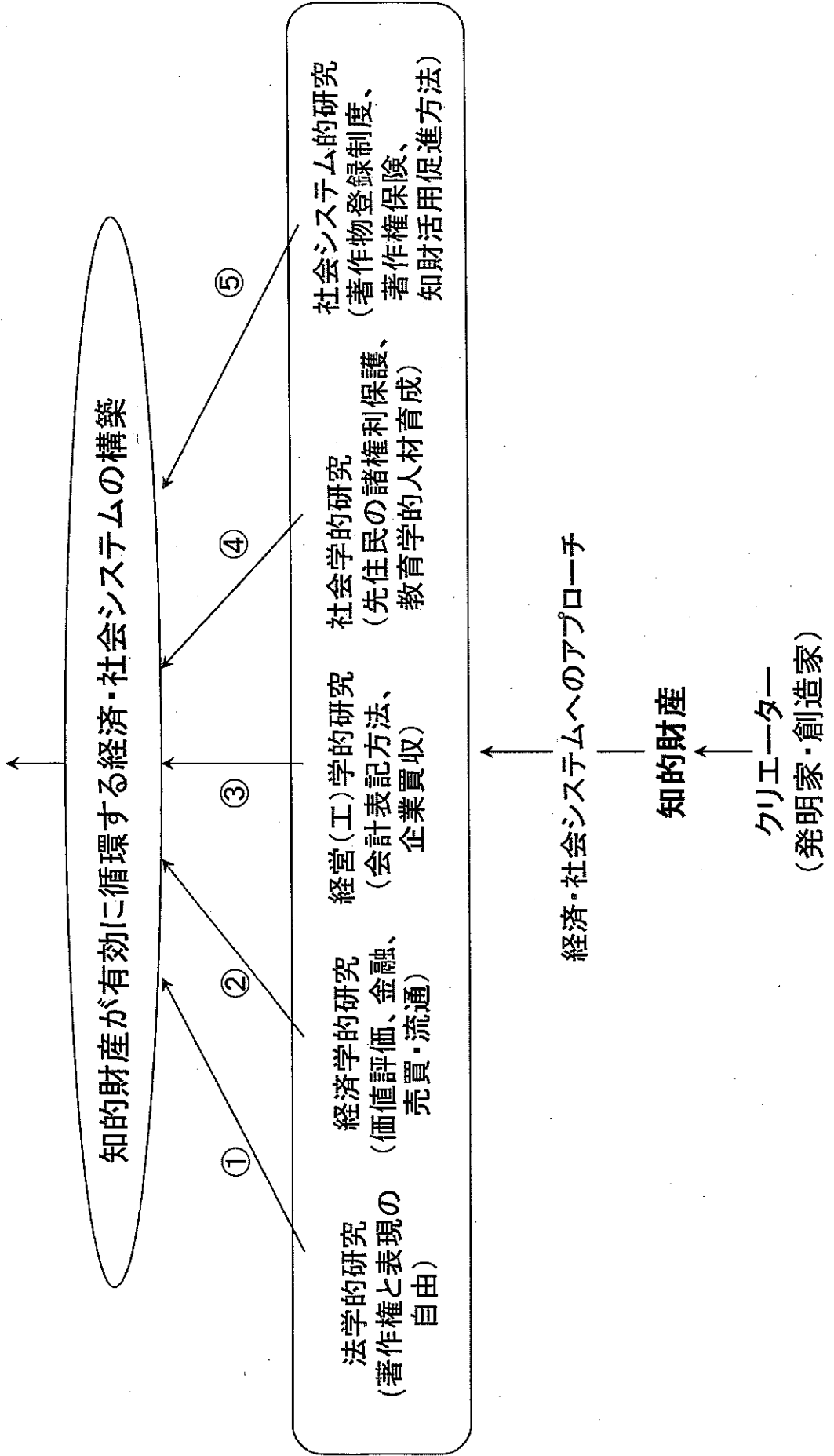
「知的財産立国」の実現への貢献見通し（申請理由）

他の受賞実績

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金「事業概念図」

★下記①②③④⑤の研究を助成対象とする

知的財産立国の確立



公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
第1回助成事業（平成16年度）受給者と研究課題・研究テーマ

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
曹 勇	東北大学大学院 工学研究科・助手	知的財産戦略を巡る日中の動向と展望に関する研究
菅 幹雄	東京国際大学 経済学部・助教授	特許ライセンス収支の国際産業連関分析
青柳由香	早稲田大学大学院 法学研究科・大学院生	先住民の伝統的知識に関する権利の保護範囲の現状の調査・検討
細川 健	広島大学大学院 社会科学研究科・助教授	コンピュータ・ソフトウェアの国際課税の研究
平嶋竜太	筑波大学大学院 ビジネス科学研究科・助教授	オープンソース・モデルの法的構造と特許法の調和に関する研究
西村由希子	東京大学 先端科学技術センター・助手	情報社会における大学発技術移転の新規プロセスの提案
城所岩生	成蹊大学 法学部・教授	米国の知的財産立国に向けた取り組みに関する法的・社会学的研究
立岡 浩	花園大学 社会福祉学部・助教授	映像コンテンツセクターにおける NPO と PPP の協働経営と権利処理ルールの評価

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
隅藏康一	政策研究大学院大学 助教授	バイオテクノロジー分野のイノベーション促進のための知的財産制度の研究

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第2回助成事業（平成17年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
今村 哲也	早稲田大学大学院 法学研究科・客員研究助手	著作権法と表現の自由
泉 克幸	徳島大学 総合科学学部・助教授	ビジネス法務における知的財産ライセンスと独占禁止法
江藤 茂博	二松学舎大学 文学部国文科・教授	日本の映画・テレビドラマの東アジア地域への伝播・展開とそれを支える違法コピーの現状
鈴木 将文	名古屋大学大学院 法学研究科・教授	地域経済統合（FTA等）と知的財産制度に関する研究
佐々木秀康	立命館大学 情報理工学部・助教授	デジタル・マルチメディア知的財産の権利取得とライセンス支援プロセスの研究
船守 美穂	東京大学 国際連携本部・特任助教授	政府開発援助（ODA）において生じる産業財産権の帰属に関する研究
内田 誠一	九州大学大学院 システム情報科学研究院・助教授	筆記による知的財産—手書きコンテンツ—に対する著作権保護に関する研究
中山 真里	早稲田大学大学院 法学研究科・大学院生	インターネットにおける国際知的財産紛争の準拠法ルールの考察
七邊 信重	早稲田大学大学院 文学研究科・大学院生	サブカルチャーに関する文化産業論的研究—オタク現象の構造連関分析を中心として
松尾 飛鳥	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科・大学院生	インターネットを利用した情報の受発信に伴う知的財産権保護の研究～小・中学生の知的財産権に対する意識と行動実態

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当なし		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第3回助成事業（平成18年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
西村陽一郎	神奈川大学 経済学部・専任講師	日米企業における未利用特許の経済分析
小川 明子	早稲田大学大学院 法学研究科・大学院生	欧州における追及権制度の変遷と、各国における制定可能性の検討
芹澤 伸子	新潟大学 経済学部・教授	知的財産権、文化保護政策とWTO交渉の経済分析
愛知 靖之	京都大学大学院 法学研究科・助教授	知的財産信託をめぐる法的諸問題の総合的研究
苗村 憲司	情報セキュリティ大学院大学 駒澤大学・教授	私的録音・録画補償金制度とデジタル権利管理（DRM）システムのコストと効用の比較に関する研究
小関 珠音	東京大学大学院 工学系研究科・大学院生	中小企業のナノテクノロジー分野における特許戦略に関する分析～産学官連携の成果物としての特許取得状況～
長平 彰夫	東北大学大学院 工学研究科・教授	オンデマンド型eラーニングにおける著作権の許諾に関する研究
石井 美穂	慶応義塾大学デジタルメディア・コンテンツ総合研究機構・助手	デジタルコンテンツへのメタデータ付与による著作権管理方法に関する研究
五十嵐美香	東京大学大学院情報学環・学際情報学府・学際情報学科・大学院生	オンラインゲーム・コミュニティの教育目的利用のための研究

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
児玉 晴男	メディア教育開発センター 研究開発部・教授	学術コンテンツの流通・利用を促進する知的財産制度の研究

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第4回助成事業（平成19年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
鈴木 信貴	京都大学大学院 経済学研究科・大学院生	工作機械産業における知財戦略の分析
兪 風雷	早稲田大学大学院 法学研究科・大学院生 早稲田大学COE企業法制と法創造総合研究所知的財産法制研究センター・リサーチアシスタント	中国コンテンツ産業における知的財産権法保護
黒川 晋	東京工業大学 経営工学科・特任准教授 ドレクセル大学経営大学院 経営学科・助教授	外国企業買収における知的財産の評価に関して：日米企業の実態比較調査
篠崎 香織	東京富士大学 経営学部・准教授	M&Aとコーポレート・ブランドのマネジメント—医薬品産業に関する事例研究—
山名 美加	大阪工業大学大学院 知的財産研究科・准教授	遺伝資源・伝統的知識をめぐる「アクセス・利益配分」と特許制度—インドモデルと米国モデルの比較中心に—
坂田 淳一	東京工業大学 産学連携推進本部技術移転部門・特任准教授	日本市場におけるソフトウェア特許に係る技術動向分析及び特許戦略分析の研究
生貝 直人	東京大学大学院 学際情報学府・大学院生	共有経済における制度・技術・ビジネスモデルに関する研究
安東奈穂子	独立行政法人九州大学 法学研究院・学術研究員	著作物の保護と活用—クリエイターの意思を尊重した著作権コントロール—
内田真理子	東京大学大学院 新領域創成科学研究科・研究・客員共同研究員	コンテンツ・ビジネスのコスト病に関する研究

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
第5回助成事業（平成20年度）受給者と研究課題・研究テーマ

（敬称略・順不同・所属機関は申請時のもの）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
徐 海峰	北海道大学法学研究科 ・修士課程 （中南財經政法大学知的財産 権研究センター・客員研究員）	日本の不正競争防止法における商品形態の 保護に対する思考～日中知的財産法を中心 とする比較研究
箴島 専	早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 ・客員准教授（専任扱い）	放送の再送信同意制度の今後のあり方に関 する調査研究
津幡 笑	北海道大学大学院 法学研究科・COE研究員	アメリカにおける営業秘密保護～秘密管理 を中心として～
大平 雅雄	奈良先端科学技術大学院大学 ・助教	グローバルソフトウェア開発における知的 協調作業に関する研究：オープンソースコ ミュニティの分析を通して
潮海 久雄	筑波大学大学院 ビジネス科学研究科・准教授	M&Aにおける著作権ライセンスの保護 に関する総合的研究
菱沼 剛	世界知的所有権機関世界アカ デミー（WIPO、スイス・ ジュネーブ市） ・知的財産フェロー	営業秘密の国際的な受入・移転の促進にと つての障害事由の分析と克服策の展望
奥田 麻衣	広島大学大学院 国際協力研究科・博士課程	多国間経済連携協定締結時に知的財産が交 渉カードとして果たす役割（日中韓EPA 交渉へ向けて）
鈴木 勝博	早稲田大学理工学術院基幹理 工学部 国際情報通信研究センター ・非常勤講師	特許データベースにもとづく携帯電話端末 関連技術のR&D動向に関する定量分析
伊東 裕子	東京海洋大学知的財産本部 ・知財化支援推進員	水産業における知的財産のあり方～実効性 のある知的財産活用システムの構築

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第6回助成事業（平成21年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
趙 京喜	早稲田大学法学大学院 ・博士課程	証明商標制度について米国と韓国の比較、及び日本の関連制度（商標制度、認証制度）の考察
末吉 洋文	帝塚山大学法政策学部 公共政策学科・准教授	植物品種保護に関わる国際レジームの現状と課題—東アジア地域を中心として—
細矢 淳	早稲田大学 国際情報通信研究センター ・客員研究員	新エネルギー（太陽電池、燃料電池）技術に係る日本企業の知的財産戦略の分析研究
西村もも子	財団法人知的財産研究所 ・非常勤研究員	WIPO著作権条約（著作権に関する世界的所有権機関条約（WCT））の形成をめぐる欧米企業の動きについて
顧 昕	北海道大学大学院 法学研究科・修士課程	インターネットでのパロディー（parody）作品に対する保護
高田 恭子	大阪工業大学知的財産学部 ・講師	学術研究（Academic Works）の財産権的帰属問題—著作物としての学術研究
赤川 英毅	国立循環器病センター研究所 ・医工連携基盤研究員	医療研究機関における知的財産戦略を効果的に推進するしくみづくりのための実用的研究
中泉 拓也	関東学院大学経済学部 ・准教授	著作権における権利期間や人格権の相違が著作物の経済的利用に及ぼす影響の日米比較研究

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第7回助成事業（平成22年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
並河 良一	中京大学総合政策学部・教授	農作物の知的財産権制度の再構築に関する研究—品種保護制度と植物遺伝子特許制度の融合への試案—
門田 かづよ	一橋大学大学院国際企業戦略研究科・准教授	発明が最適に保護及び活用されるためのサポート要件の判断基準について
茂木 裕美	青山学院大学大学院法学研究科ビジネス法務専攻・博士後期課程	ゲームソフトウェアプログラムに内在する「知的監理」と組織化された創作上のリスク
玉井 克哉	東京大学先端科学技術研究センター・教授	技術の標準化に際しての知的財産権の行使条件に関する実証的研究
大西 潤子	中央大学大学院法学研究科国際企業関係法・博士後期課程	電子書籍に関する著作権法の現状と課題について—米国との比較研究
森棟 隆一	東京学芸大学附属高等学校・教諭	小・中・高等学校・大学連携を意識した知財教育
佐藤 豊	北海道大学大学院法学研究科グローバルCOEプログラム・博士研究員	持続可能な発展を可能とする社会システム～環境関連技術と知的財産制度との関係からのアプローチ～

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第8回助成事業（平成23年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
佐藤 智晶	東京大学政策ビジョン研究センター・特任助教	方法の特許の保護と医療イノベーションに関する実証研究
大野 由夏	北海道大学大学院 経済学研究科・准教授	パテント・トロールの脅威と特許及び特許権侵害訴訟制度についての経済学的考察
張 睿暎	東京都市大学 情報メディア学科・専任講師	インターネット上の著作権侵害者に対するスリーストライクルールの日本への導入可能性 — ISPの役割を中心に
Hazucha, Branislav (ハズハ ブラニスラヴ)	北海道大学大学院 法学研究科・特任准教授	第4世代移動体通信に関する必須特許と技術標準
早乙女 俊一	青山学院大学大学院 会計プロフェッショナル研究科・博士後期課程3年	知的財産情報の開示モデルの検討～製薬業界を例とした定性情報（財務諸表外情報）の開示と保証の研究～
柴田 洋輔	東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科・博士後期課程	脱レアメタルに向けた物質特許戦略の国際比較
林 秀弥	名古屋大学大学院 法学研究科・准教授	知的財産と競争法をめぐる国際的制度間調和
志賀 典之	早稲田大学法学学術院 助手（博士(後期)課程在籍)	オンラインコンテンツへの著作権行使及び著作権契約に関する欧州・ドイツ法との比較研究
前田 敦子	東京海洋大学産学地域連携推進機構（知的・法務部門） 産学連携コーディネータ	震災復興に生かせる水産分野の知的財産の把握とその活用

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金
 第9回助成事業（平成24年度）受給者と研究課題・研究テーマ
 （敬称略・順不同）

1. 「研究助成」分野

氏名	所属機関	研究課題
大沼 友紀恵	法政大学通信教育部法律学科 兼任講師	知的財産権の権利処理の失敗と契約責任～公演鑑賞契約における主催者の債務についての考察～
Christoph Rademacher (クリストフ ラデマハ)	早稲田大学高等研究所 助教	特許侵害訴訟における証拠収集手続の比較法的研究－米国ディスカバリー手続及びドイツ「デュセルドルフ手続」の日本法への示唆
杉光 一成	金沢工業大学工学研究科 教授 知的財産科学研究センター長	「デザイン法」に関する研究
佐々木 一	東京大学 政策ビジョン研究センター 特任研究員	萌芽的領域の知財情報遷移モデルの特定とその手法の提案に関する研究

2. 「知的財産研究賞」分野

氏名	所属機関	研究テーマ
該当無し		

以上